

令和5年度技術・家庭科《第2学年技術分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働きかせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

技術分野の目標

技術の見方・考え方を働きかせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	評価資料
4	ガイダンス	技術と生活、環境との関わりを考えさせる。	①技術と私たちの生活や環境との関わり	主張的に学習に取り組む態度 技術と生活の関係に気付き技術の役割に関心を示している。	

5	エネルギー変換の技術 エネルギーの利用と変換	エネルギーの生活と社会に果たす役割を理解する。エネルギー変換の仕組みと安全な利用方法を知る。エネルギーの適切な活用について考える。	①私たちの生活とエネルギー ②エネルギー資源の種類 ③エネルギーの変換と利用 ④動力伝達のしくみ ⑤運動を変化させるしくみ ⑥機器の保守点検と整備 ⑦機器の安全な利用と事故防止 ⑧エネルギー変換の技術の振り返り	主体的に学習に取り組む態度 エネルギー変換の技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適切な解決策を示そうとしている。 省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計、製作しようとしている。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 思考・判断・表現 製作品の使用目的や使用条件を明確にし、設計要素を検討し製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造などを決定している。 エネルギー変換の技術の課題を明確にし、いろいろな面から比較・検討するとともに適切な解決策を見出している。 知識・技能 漏電、感電、加熱及び短絡による事故を防止できる。 社会で利用されている機器等における、エネルギー変換の、制御、利用についての知識を身に付けている。 力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品について知識を身に付けている。 機器の定期点検の必要性についての知識を身に付けている。 組み立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。	生徒の活動状況 プリントの点検 テスト
6					

7	製作	「テーブルタップの製作」「ラジオの製作」	<p>＜テーブルタップ製作後、ラジオ製作を行う＞</p> <p>① 目的にあったエネルギーを効率よく使うことを考えて選択し、アイデアスケッチをかく。</p> <p>② 運動のしくみ・機構や構造、必要な機械部品や電気回路・電気部品、材料・加工法など、構想を検討する。</p> <p>③ 構想を整理し、図に表す。</p> <p>④ 部品図や部品表、回路図、製作工程表などを準備する。</p> <p>⑤ 安全に気を付け、効率よく正確に精密に作業をし、製作を行う。</p> <p>⑥～⑨ 安全に気を付け、製作を行う。</p> <p>⑩ 製作品の動き等の安全点検を行う。</p> <p>⑪ 設計と構想を比較し、製作の反省を行う。</p> <p>⑫ 作品のしくみや工夫をまとめ、発表会などを行う。</p> <p>⑬ エネルギー変換に関する技術と社会との関わりについてまとめを行う。</p>	<p>知識・技能</p> <p>省エネルギーと使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p> <p>省エネルギーと使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p> <p>設計に基づき、安全をふまえた電製品の組立て・調整や、電気回路の配線及び回路計など用いた点検ができる。</p> <p>機器の点検すべき箇所を見付け、保守点検と事故防止ができる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較・検討した上で、製品に適したエネルギーの変換方法などを決定している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ラジオ製作を通じて技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとしているとともに、適切な解決策を示そうとしている。</p> <p>省エネルギーと使用者の安全などに配慮して製作しようとしている。</p> <p>新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p>	生徒の活動状況 プリントの点検 作品 定期テスト
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					